

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			1時間単位でマンツーマンもしくは小集団を行う人数は位置をしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリーの設備はありませんが車いすを利用している利用者の方が通所する際は必要な手伝い等を行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善のため職員の面談、電話相談窓口の等を設けています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方から多くいただいた意見は真摯に受け止め、今後改善を行っていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			評価結果をHPに更新しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価は実施していませんが、今後検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に学習会を実施しています。感染対策や虐待防止の研修を行っています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			進学などの際には保護者と利用児童のニーズにより合わせて作成するよう心がけていきます。個別支援以外の時期にも面談をしたり、相談できる環境を整えています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		子どもの特性に合わせたツールを作成して使用することもあります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動がマンネリ化しないようにスタッフで話し合い立案をしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			コロナ禍があげた後、今までできなかったプログラムなどを戻すなどして工夫をしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		土曜日やイベントなどのプログラムは詳しく考えています。その際詳細の開示が遅れてしまうことがあります。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用児童の状況に応じて個別活動と集団活動での目標を設定している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			通常支援の際は毎日定時刻にミーティングを行い、支援の方向性を話し合っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日に気になったことがあった際は常に報連相が出来る環境を整えています。翌日にはミーティングを行い、児童の支援の振り返りをしています。毎朝前日の確認事項を話し合い共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			翌日に支援記録のチェックをしています。評価に応じて支援の方向性を検討しています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	○		定期の面談以外にもご要望に応じて、進学や就学の際には個別で相談をしていくようにしていきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			コロナ禍はあけましたが、サービス担当者会議が紙面で行われることがまだ続いています。その際は状況を把握できる職員が対応しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		コロナ禍はあけましたが、学校の様子を確認する機会は減ってしまった。送迎は行っていないトラブルは起きていません。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在医療的ケアを必要している児童は在籍していません。契約時には必ずかかりつけ医を確認しています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			新規児童の受け入れの際には児童発達や学校で作成していた支援計画や発達検査などの共有をしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		就職・進学以外の障害福祉サービス事業所への移行の児童はまだない為、対応はしておりません。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			モニタリングなどで必要な際は電話などで情報の共有をしています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	保護者の方から必要としていない意見を多くいただいています。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			案内等があり、事業所の運営にかかわる研修などには出席しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎をしていないため、保護者の送り迎えがない児童の課題について共有がされていないと感じることがありますが、その際は電話などでお子様のご様子を伺っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		今後支援の質を向上させていくために、対応していくことも検討していきます。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時には丁寧な説明を心掛け、疑問があった際にはすぐに相談できる体制を整えています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			進学や就学の際には、専門の職員が相談対応できるようにしていき、必要な支援を行っています。面談以外にも、電話などでも悩み等日々の相談毎にも対応出来るスタッフ体制を整えています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		ご要望を多くいただいております。保護者参加型のイベントは開催しましたが、保護者のみの開催は今年度は開催していません。今後必要になる場合は検討していきます。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		SNSでの連絡などを利用することにより、利便性は向上しています。通所される上でご不明なあった際にはその都度迅速に対応してまいります。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報・SNSでの情報を発信しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			十分注意しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者や児童とのコミュニケーションをとり、信頼関係が築けるようにしています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍があげましたが、イベントなどはないため、現在参加していません。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアル等を作成して見やすい場所に置いてありますが、周知不足があります。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			随時地震・火事などの世状況に合わせて訓練を行っています。訓練の際は保護者にお便りでも通知をしています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			隔月での研修を行い、日々の支援が適切なものであるかを全職員が見直せる対応をとっています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			当人が怪我等をする場合、もしくは他者に危険が及ぶ可能性がある場合は支援計画の更新の際に記載しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		契約前に保護者の方に事前に食品アレルギーの有無を必ず確認し、職員内で周知しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			日々の児童対応での出来事で気が付いたことなどを記入して、職員内で共有をしていき支援の質の向上をはかっています。